

>>>> ナノセルロースフォーラムに参加 <<<<

6月4日に、東京・品川のザ・グランドホールで、ナノセルロースフォーラム第12回技術セミナーが開催されました

「ナノセルロースフォーラム」はナノセルロースの研究開発、事業化、標準化を加速するために設立された産業技術総合研究所のコンソーシアムで、現在361の個人または団体の会員が参加しています。

今回の技術セミナーでは、ナノセルロースに関する各地域における取組や、大学や公設試による研究成果が43件発表され、本県からは、「鹿児島県におけるCNF（セルロースナノファイバー）に関する取組み」についてポスター発表を行いました。発表では、当センターで今年度から取り組んでいる研究や支援についても紹介し、参加者と意見交換をすることができました。また、

鹿児島県からは薩摩川内市の「^{さつまのくに}薩摩國竹セルロースナノファイバー形成に向けた取組み」に関するポスター発表もありました。



展示の様子

>>>> レーザ加熱による異種材料接合技術で連続受賞 <<<<

4月25日にパシフィコ横浜にて開催された、第2回天田財団レーザプロセッシング助成研究成果発表会において生産技術部の瀬知研究専門員が講演を行い、奨励論文賞を受賞しました。

この研究は、公益社団法人天田財団から助成を受けて実施され、短時間の異種材料接合手法として近年注目されている金属／セラミックスの異材レーザブレイジング（ろう付）において、重要となる短時間加熱中の活性金属ろう材の酸化挙動を明らかにしたものです。

また、一般社団法人溶接学会の専門委員会である界面接合研究委員会からは、平成29年度界面接合研究賞を5月18日に受賞しました。

同研究賞は、東京ブレイズ株式会社と共同実施した「精密な温度制御可能なレーザろう付機の開発」に対して授与されました。

ろう付の際に重要となる、接合部材の精密な温度制御により、少量多品種生産におけるろう付を安定して実現可能な画期的な技術を開発したことが高く評価されています。



受賞の様子



受賞者と賞状

>>>> 共同研究・受託研究に関するアンケート調査結果 <<<<<

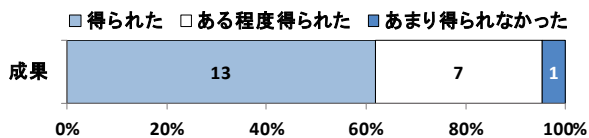
平成29年度に共同研究及び受託研究（19社，21テーマ）を実施した企業等を対象にアンケートを実施し，満足度を調査しました。その結果，全19社から回答があり，その中で貴重なご意見・ご要望も頂きました。調査内容及び調査結果は以下のとおりです。

《調査内容》

調査目的	中期業務計画（平成29～33年度）に基づき，共同研究及び受託研究利用企業の満足度等を調査し業務改善に役立てる。
調査対象	21テーマ（19社）
調査期間	平成30年5月7日～5月28日
調査方法	調査票を郵送
調査票	選択式及び記述式，8項目

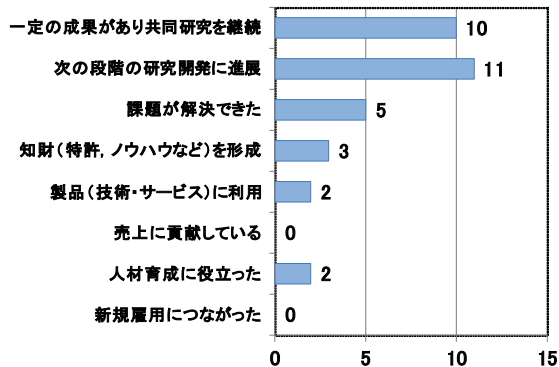
《調査結果》

Q1. 期待した成果が得られましたか



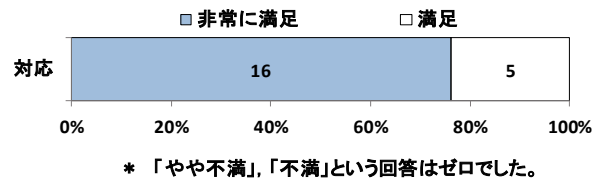
「得られた」，「ある程度得られた」との回答がほとんどでしたが，「あまり得られなかった」という回答が1社ありました。この内容としては，相手企業の供試品に対して，当センターの実験設備の能力が十分でないために，予定の検討ができなかったというものでした。

Q2. どのような成果がありましたか(複数回答)



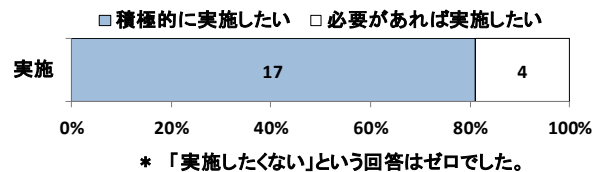
成果として，課題解決，知財形成や人材育成があったというものが複数ありました。

Q3. センターの対応について



すべての企業が「非常に満足」，「満足」との回答でした。

Q4. 今後も実施したいと思いますか



半数以上の企業が，今後も「積極的に実施したい」との回答でした。

そのほか，「共同研究により試作品の特性を確認できた」，「幅広い知識と的確な助言で人材育成にも活用できた」等のコメントをいただきました。これらの意見を参考に，利用企業の利便性の向上を図るとともに，利用満足度100%を目指して，今後も業務の改善に努めて参ります。

工業技術センターでは，今年度も共同研究及び受託研究を行っています。研究の実施にご興味のある方は，お気軽にお問い合わせください。

最後にアンケート調査に御協力頂きました企業の皆様に感謝いたします。